

市長から

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が全国で続いており、県内においても急速に感染者が増加しています。

こうした中、市においても、7月30日に1例目の感染者が確認されました。

これを受け、市民からの問い合わせなどに対応するため、健康づくり推進課内に相談窓口を設置するとともに、ホームページで感染予防対策の徹底について、改めて周知しました。

今後も引き続き「手洗い」「マスクの着用」「人との距離の確保」などの「新しい生活様式」の実践について周知徹底に努めていきます。

さらに、感染者は非難され

る対象ではなく、守られる存在であるという認識のもと、感染者やその家族、医療従事者などへの誹謗中傷や風評被害、偏見などを防止するための啓発にも引き続き取り組んでいきます。

また、7月3日から14日にかけて発生した「令和2年7月豪雨災害」は、多くの犠牲者と被害をもたらしました。被災された方には心からお見舞い申し上げます。

市民の皆さんに速やかに命を守る行動をとっていただくため、現在国においても避難情報の発令の見直しを検討しています。市としても防災情報伝達システムの整備をきっかけとして、今まで以上に適切で迅速な災害情報を発信し、自助・共助・公助による地域防災力の向上に努めていきたいと考えています。



市営バスの運賃改定など

公共交通については、「瀬戸内地域公共交通網形成計画」に基づく市営バス6路線の導入と、タクシー活用制度の市内全域への導入により、既存民間路線バスでカバーされる地域も含めると、計算上の公共交通不便地域は、前島のみとなります。

前島での取り組みは、現在、

地域の皆さんと協議中です。

市営バスの利用者数は、昨年度末までは少しずつ増えている状況でしたが、新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響もあり、今年度は減少傾向にあります。

そのような中、地域公共交通会議において、昨年度末から利用者増加策として運賃の減額が議論されており、これまで1度の乗車ごとに300円であった運賃を1日に何度乗車しても200円とし、免許証を返納し、おかやま愛カードの交付を受けた人などは、半額の100円とすることが方針として決定されました。

新火葬場の整備

瀬戸内市と岡山市の連携に

よる瀬戸内市新火葬場（仮称）

の整備運営について、両市の間で基本的な条件などの合意が得られたため、8月5日に整備運営に係る確認書を取り交わしました。

今議会には、今後両市で火葬場を広域整備するために必要となる事務委託に関する規約および土木工事関連予算を提出しており、議決後に、より詳細を定めた協定を締結し、整備工事に着手する予定としています。

今城保育園・今城幼稚園の今後のあり方

住宅開発などで、今後人口の増加が予想される今城地区において、保育園・幼稚園をこども園にするための準備を進めています。

現在、基本計画策定等業務

のプロポーザルの公示をして

おり、9月中旬に業者が決定する予定です。

この業務では、基本計画の策定と基本設計、実施設計を行います。

JR駅前等整備事業

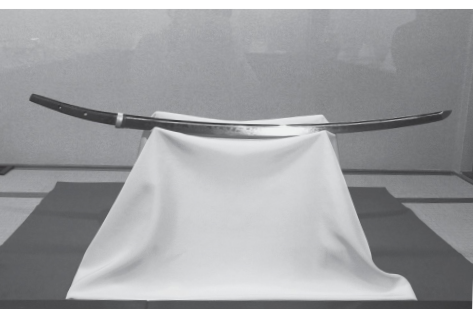
JR3駅の駅前等整備事業は、コロナ禍の影響を大きく受ける中、JR保線区との隣接協議などが遅れる状況となっていますが、大富駅、長船駅の2駅については、早い時期に工事に取にかるよう、準備をしています。

残る邑久駅については、市営駐車場の台数確保や駐輪場利用者の安全性について再度検討し、更なる用地の確保など、問題解消に向けた調整を行っているため、他の2駅に比べ工事発注時期が遅れることとなりますが、合併特例債の期限内には全ての工事が完了できるよう事業を進めていきます。

文化観光の振興

文化財をまちづくりのために活かしつつ、その継承に取り組んでいくため、国が地方に策定を求めている「文化財保存活用地域計画」については、令和4年度の策定に向けて、現在準備を進めているところです。

また、多くの皆さんのご支援により購入することができました太刀無銘一文字「山鳥毛」の活用については、新たに策定した「山鳥毛里づくりプロジェクト」に基づき取り組むこととしており、現在、9月からの特別陳列に向けて準備を進めているところです。



国宝「太刀 無銘一文字（山鳥毛）」

新型コロナ、インフルエンザだけじゃない

ノロウイルスにも気を付けましょう！

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、一年を通して発生しますが、特に11月から2月に流行します。

ノロウイルスは、わずか100個のウイルスでも感染するほど強い感染力を持ち、「食品から人」だけでなく「人から人」にも感染するのが特徴です。抵抗力の弱い子どもや高齢者では重症化しやすいので、特に注意が必要です。

調理の際、加熱が必要な食材（特に肉、魚介類）は中までしっかり火を通すようにしましょう。また、ノロウイルスにはワクチンがなく、治療は対症療法に限られます。新型コロナウイルスやインフルエンザの予防と同様に、感染症予防対策を徹底することが大切です。

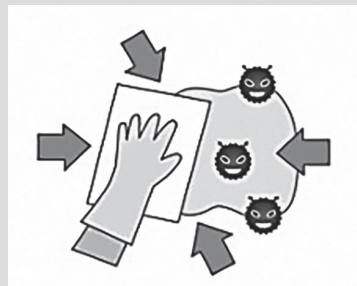


感染者のおう吐物・ふん便は正しく処理しましょう

ノロウイルスは、おう吐物が乾燥してからも感染力を持ち、空気中に散ることで感染が拡大してしまふことがあります。すばやく確実に処理しましょう。

処理時のポイント

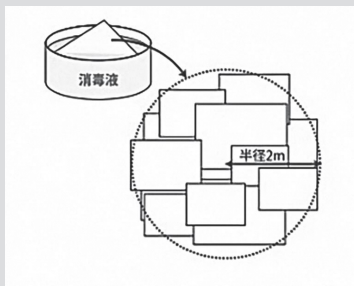
- ・ノロウイルスには次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が有効です
- ・作業の際は、使い捨てのガウン（エプロン）、マスク、手袋を着用する
- ・次亜塩素酸ナトリウムは金属を腐食させるので、消毒後は水拭きを忘れずに
- ・処理中、処理後は換気を十分に行う



①ペーパータオルなどで外側から内側に静かにふき取る。



②すぐにビニール袋に入れ密封。0.1% 消毒液を染み込む程度入れると効果的。



③おう吐物などが付着した場所を0.02% 消毒液に浸した布やペーパータオルなどで消毒する。

★消毒液の作り方

（市販の「台所用塩素系漂白剤（塩素濃度約5%）」を原液とした場合の作り方です）

・おう吐物処理（0.1%）

500 $\frac{1}{1000}$ のペットボトルに、ペットボトルキャップ2杯（約10 $\frac{1}{1000}$ ）の原液と水を加えて500 $\frac{1}{1000}$ にする。

・通常の殺菌（0.02%）

1 $\frac{1}{1000}$ のペットボトルに、ペットボトルキャップ1杯（約5 $\frac{1}{1000}$ ）の原液と水を加えて1 $\frac{1}{1000}$ にする。

※作った消毒液は、その都度使い切りましょう。使用に当たっては、製品の注意事項をご確認ください。



教育長から

新型コロナウイルス感染症に関する経済対策として実施した市内宿泊事業者緊急支援事業については、7月31日に受付を終了しました。

利用件数は約1600件、利用人数は約5400人で、市内事業者に対する経済効果としては、一定の成果があったものと考えています。

また、その他の経済対策として実施予定の観光対策事業については、全国的な感染症拡大の状況を鑑み、一部の施策については実施時期を検討しているところです。

これらの文化振興および観光振興事業は、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた事業の推進に努めていきます。

社会体育施設等での新型コロナウイルス感染症対策

社会体育施設および公立学校体育施設の利用再開に当たり、利用者が安全安心に利用できるよう、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいます。

新しい生活様式を実践しながら、子どもたちは、前向きに学校・園で充実した生活を送っています。なお、小中学校については、子どもたちの学びを保障するため、夏季休業期間中の14日間を学校登校日とし、授業を行っています。

修学旅行については、宿泊を伴う学校行事のガイドラインに従い、小学校では計画を変更し、中学校では安全安心に遂行することが困難であることからやむを得ず中止するなど、新型コロナウイルス感染症予防の観点で、これまで行ってきた教育活動を見直しています。



図書館入り口には、利用者に向けた手書きのイラストとメッセージが書かれています

いるところ。また、利用者の皆さんには、感染拡大を防止するため、「瀬戸内市社会体育施設及び公立学校体育施設における新型コロナウイルス感染症等の感染防止策チェックリスト（利用者向け）」を遵守してもらうよう呼び掛けています。

公民館、図書館での新型コロナウイルス感染症対策

公民館では「瀬戸内市公民館における新型コロナウイルス感染症対策指針」を作成し、感染対策を講じながら主催事業を再開しました。自主グループは、全体の約7割が活動を再開しています。

今年度の公民館での主な行事については、8月の喜之助人形劇フェスタが中止となり、文化祭は市内3会場全てを中止することとなりました。

また、第34回備前長船菊花展については、実行委員会により実施が決定しましたが、今後の市内の感染状況などによっては、変更・中止することも考えています。

コロナ禍にあっても、集い学びたいという市民の学習要求にこたえるため、安全安心を最優先に、新しい生活様式を取り入れながら、学習機会の確保や公民館における活動の支援ができるよう努めます。

図書館では、市民の皆さんに安心して利用してもらえるよう、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、図書館サービスを実施しています。主催行事については、感染対策がとれる小規模な行事から、慎重に再開していくこととしています。

市民にとって必要な情報や知識が得られ、また、心の安定が得られるよう、可能な限

りのサービスを提供したいと考えています。

学校施設整備の進捗状況

今年の1月から改修を行っていた牛窓東幼稚園園舎の大規模改修工事は、7月に工事を完了しました。改修後の新園舎は、2学期から本格的に利用しています。

また、GIGAスクール構想に伴う小中学校の情報ネットワーク整備については、現在必要となる情報通信設備工事の実施設計を行っています。児童生徒への1人1台の端末整備と併せて今年度末までに完了できるよう準備を進めます。



工事が完了した牛窓東幼稚園園舎